



## 国語科学習指導案

1 日 時 平成21年10月1日(木) 5校時 14:00~14:50

2 学年・組 1年2組 (男子15名, 女子16名 計31名)

### 3 指導事項

(1) 読むこと 才

- 文章に表れているものの見方や考え方を理解し, 自分のものの見方や考え方を広くすること。

(2) 言語事項 ウ

- 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに, 話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

4 単元名 自分を見つめる 作品を読み, 人物の思いや体験の深さに気づく  
「少年の日の思い出」 ヘルマン・ヘッセ 高橋 健二 訳

5 言語活動 文章にこめられた作者の思いや登場人物の心情について, 叙述を基にして, 自分の考えを述べ合うこと。

### 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
友達の考えを自分の考えと照らし合わせて聞こうとしている。	登場人物の心情を本文に即して読み取っている。	作品の中で用いられている表現上の工夫について理解している。

### 7 単元について

生徒の状況

- 教科の学習に関する質問紙調査で「場面の中心や人物の気持ちを表す言葉に注意して文章を読んでいます。」という項目に対し, 肯定的に解答した生徒は 64.6%であった。また, 基礎・基本定着状況調査での「登場人物の心情の把握(三四)」が本校通過率は 28.3%と県平均と比較して 13.7ポイント低く, 人物の心情を把握する力に課題がある。

教材の価値

- 人物の心情をとらえること: 時を経ても読み続けられている文学作品は, 豊かで多面的なものを見方を教えてくれる。また, 登場人物の心情をとらえる表現が数多くあり, 登場人物に思いをはせることは比較的容易である。登場人物の心情について, 根拠を挙げながら, 意見を述べ合うことで自分のものの見方や考え方を広げることが期待できる。

指導の工夫

- ・ 体験や叙述をもとに自分の考えを伝えること：個人思考の後，少人数グループ等での話し合いの時間を十分に取り，異なった考えや思いを聞き，自分自身の考え方を広げられるようにしたい。

8 単元の学習と評価の計画（全6時間）

次	時	学 習 活 動 (評価方法)	評価の観点		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
一	1	新出漢字や難語句を確認し，全文を通読する。 言葉のまとまりや表現の違い等を意識し，場面や人物の心情を踏まえた感想をもつ。  (授業中：観察)			
	2	時，場，登場人物を整理している。 主な登場人物の関係を図式や言葉で整理する。  (授業中：観察・教科書)			
	3	着目した表現を基に，登場人物に対する自分の気持ちを書いて整理する。 登場人物の行動と心情を整理し，登場人物の気持ち読み取る。  (授業中・後：観察・学習プリント)			
	4	「僕」と「エーメール」どちらかの立場で，お互いに言いたいことを飲み込む事なく，言い合う。文章中の表現を根拠にする。  (授業中・後：観察・学習プリント) 【本時】			
	5	「僕」が最後にちょうをつぶしてしまう「僕」の行動と心情を考える。 一連の行動を振り返り，場面ごとの心情や心の葛藤を考える。  (授業中・後：観察・学習プリント)			
二	6	「僕は本当に許されないのか」について自分の考えをまとめる。 根拠を明らかにして，自分の考えを発表している。 話し合いを通して深まったことや新しく考えたことをまとめている  (授業中・後：観察・学習プリント)			

## 9 本時の目標

登場人物の行動と心情を整理し，登場人物の行動を解釈し，自分の言葉で表現することができる。

## 10 本時の学習展開

学習内容・活動	指示・発問	評価規準・評価方法
1 前時の確認	1 「僕」「エーミール」が言いたいことを「飲み込む」ことなく，考えたことを確認する。	・観察，学習プリント
2 本時の課題確認		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     叙述を基に登場人物の心情を考え、自分の言葉で表現する。                 </div>		
3 グループに分かれ，意見交流する。  文章にこめられた登場人物の心情について，自分の考えを述べ合う。  少人数グループで反論を考える。  反論，新たな意見を述べあう。	・「僕」「エーミール」のどちらかの立場に立ち，書いたことを基にお互いの思い，言いたいことを理由も添えて述べあう。  ・反論，新たな意見を理由（叙述を基に）も考えて交流する。  ・理由を添えて反論，新たな意見を述べあう。	・観察，学習プリント
4 課題解決 考えの交流をとおして修正や付け加えたことを含めて，自分の意見をまとめる。		
5 次時の確認		・交流を終えて感じたこと・考えたことを，文章中の叙述を根拠にプリントに書いている。 ・観察，学習プリント